

修 士 論 文 の 和 文 要 旨

研究科・専攻	大学院 情報システム学研究科 社会知能情報学専攻 博士前期課程		
氏 名	吉村 優一	学籍番号	1051033
論 文 題 目	書籍推薦を目的とした 読者レビューからの評価視点と評価値の推定		
<p>要 旨</p> <p>従来の書籍推薦手法は、他の商品推薦手法と同様に、内容に基づくフィルタリングと協調フィルタリングに分類することができる。しかし、内容に基づくフィルタリング手法の場合、書籍から得られる特徴が、「出版日」「ジャンル」などの表面的なものしかないため、内容を適切に反映した書籍情報を得ることができないという問題がある。また、協調フィルタリングは、書籍の特徴を無視するため、ユーザの好みを明示的に判断できず、ユーザが直接自分の好む特徴を指定して推薦要求を行う場合、それに対応することができないといった問題点が挙げられる。</p> <p>本研究の目的は、任意の書籍の評価視点と評価値を自動的に取得し、それを利用した書籍推薦を行うことである。評価視点とは、商品进行评估する際に考慮される潜在的な特徴であり、評価値は、評価視点に対する評価がどの程度「良い」「悪い」のか、という値を指す。本研究では、書籍を推薦する際に、この評価視点と評価値を考慮した推薦を行うことによって、従来の推薦手法より有用な推薦をすることができると考え、評価視点と評価値を取得し、それを用いて推薦を行うシステムを構築した。</p> <p>評価視点は、読者レビューから名詞の出現頻度を測り、評価視点のなりやすさを考慮することによって評価視点の候補を削減し、そこから取得した。評価値は、読者レビューの中の評価表現を抽出し、どのぐらい肯定的な評価なのか、あるいは否定的な評価なのかを算出してまとめることによって取得した。推薦システムは、推薦をユーザの評価を予測する回帰分析の問題ととらえ、Support Vector Regression (SVR) を用いて推薦を行うシステムを構築した。</p> <p>システムの有用性を確認するため、実際の書籍を対象として評価視点、評価値を取得した。取得した評価値は、被験者へのアンケートによって妥当性が示された。また、評価値を用いて実際に書籍推薦をするために、被験者の評価を推定可能かどうか評価実験を行った。その結果、本手法が被験者の評価を推定可能であることが分かり、本システムが有用であることが示された。</p>			